

京都大学総合博物館 2006年春季企画展

コンピュータに 感覚を

京大情報学パターン情報処理の系譜

平成18年

6月7日(水)

8月27日(日)

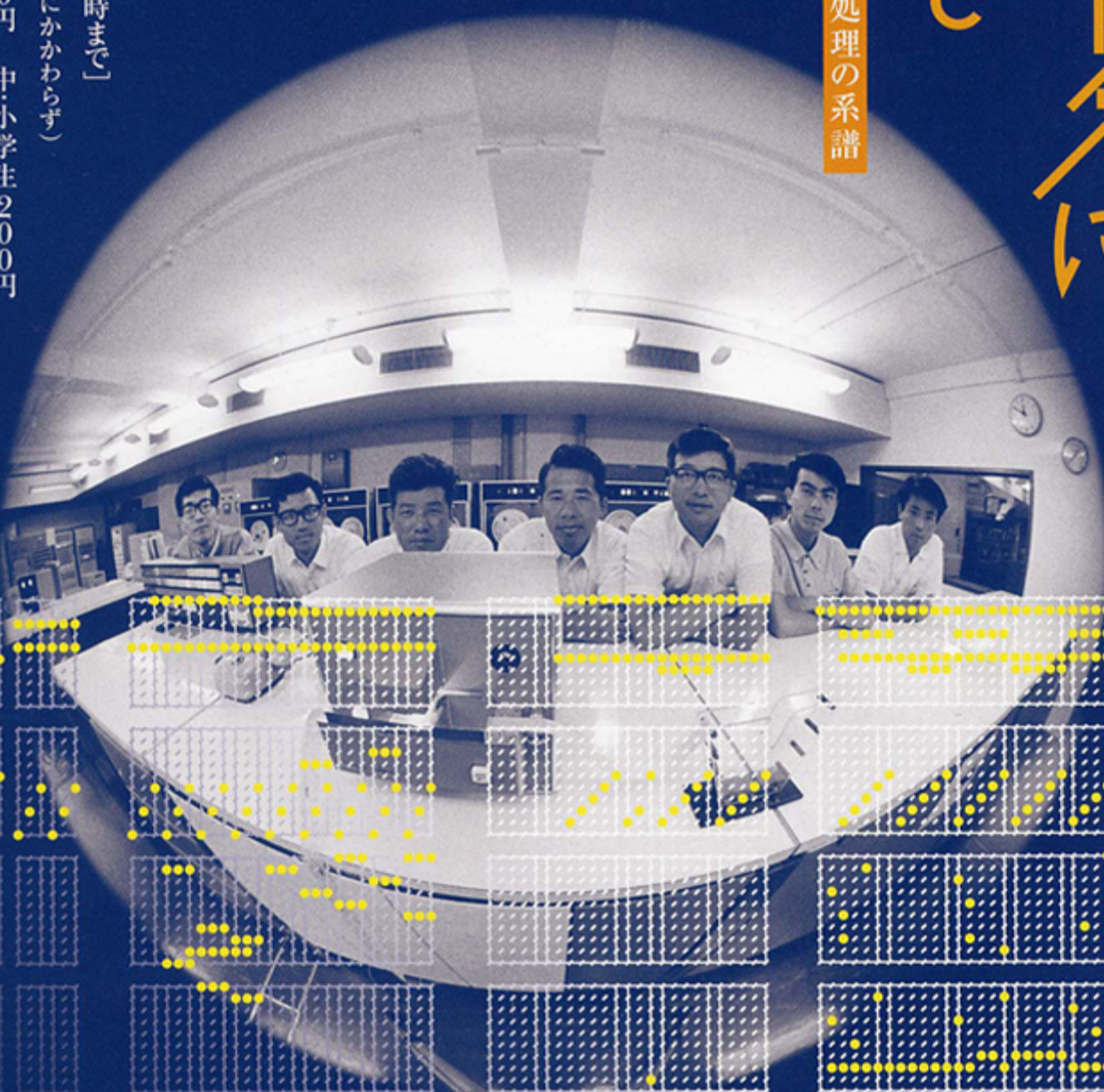
9時30分—16時30分「入館は16時まで」

月曜日・火曜日休館(平日・祝日にかかわらず)

一般400円 大・高校生300円 中・小学生200円

20名以上団体割引あり 70歳以上の方・身体障害者の方無料

京都大学総合博物館 2階企画展示室



MUSEUM
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

コンピュータに 感覚を

京大情報学
パターン情報処理の系譜

世界のコンピューティング史は、その影響力の大きさから、1940～50年代は英米、1960年代以降は米国中心に語られることが多い。しかし、日本のコンピューティング史は、西欧中心のコンピューティング史の枠組みに収まらない特徴を持っている。特に、26文字のアルファベットを中心とした文字文化では容易に表現しきれない日本語の特性に起因する、パターン情報処理分野は、ユニークな開発思想によって先導された領域として知られる。この企画展では、こうしたパターン情報処理の分野において、京都大学で音声認識、画像認識、日本語情報処理などのパイオニア的業績を重ねた坂井利之研究室の貴重な技術史資料を軸に、貴重な歴史的な文書やシステムの記録映像などを公開する。また、いまは失われたシステムの原理をわかりやすく再現したものや、この分野で最先端の情報処理技術を使ったシステムなど、来場者が実際に触れてみることでできる体験型システムを展示する。

<展示概要>

●パターン情報処理のあゆみ：坂井利之らの開発思想

坂井研究室では音声・言語・画像・ネットワークといった多岐にわたる分野に取り組んだ。それらの研究・開発が、どのような開発思想のもとに行われてきたのか。また、それらの問題意識を継承した研究が、どのように発展してきたのか。巨大年表と資料展示によって京都大学の情報学の系譜をたどる。

●再現システムと体験コーナー

1. 音声タイプライターの再現システム

コンピュータに声を認識させるという1960年頃のパイオニア的な試みがどのようなものであったか、当時の写真資料や映像資料の展示に加えて、コンピュータ上に再現した当時のシステムのしくみを来場者が体験出来るコーナー。

2. 名刺読み取り装置の再現システム

1970年代前半につくられた名刺読み取り装置の再現システム。来場者が、会場に用意した名刺をコンピュータに認識させてみる事ができるようになっている。

3. 音声認識会話エージェント・システム

最新の音声認識技術による、京都の観光案内などをするモニター内のCGキャラクタ（会話エージェント）と、来場者が会話を楽しむことの出来るシステム。パターン情報処理の最新システムのひとつ。会場入り口で名前を登録した来場者には、顔を認識して名前を呼びかけてくれる。

4. 感性を表現するシステム

映像技術の歩みは、精神的な世界をコンピュータで表現するという試みに至っている。会場には、日本文化・情報文化研究者松岡正剛氏と学術情報メディアセンターの土佐尚子特任教授、ジャズトランペッターの近藤等則氏（音楽）による、コンピュータで山水画を描き質問を体験するシステム（ZENetic Computer）を設置。

ほか

交通機関：
＜市バス＞
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM
JR/近鉄京都駅から17・206系統
阪急河原町駅から3・17・31・201系統
地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統等
地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統
「百万遍（ひゃくまんべん）」下車徒歩約2分。
＜京阪電車・叡山電車＞
出町（でまちやなぎ）駅から徒歩約15分。
＊駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



コンピュータに感覚を

—京大情報学パターン情報処理の系譜—

下記要領で公開講座を開催しますので、受講希望の方はお申し込みください。

7月1日(土) コンピュータによる「音声」の情報処理
河原達也 [京都大学 学術情報メディアセンター 教授]

7月8日(土) コンピュータによる「ことば」の理解
黒橋慎夫 [京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻 教授]

7月15日(土) コンピュータによる「画像」の理解
美濃導彦 [京都大学 学術情報メディアセンター長・教授]

7月22日(土) コンピュータシステムの発展と今後の動向
富田眞治 [京都大学大学院 情報学研究科 通信情報システム専攻 教授]
各回の司会と講演者の紹介：喜多千草 [関西大学助教授・京都大学非常勤講師]

記

1. 期 日：平成18年7月1日、7月8日、7月15日、7月22日（各土曜日 計4回）
2. 時 間：午後1時30分～午後4時
3. 会 場：京都大学 総合博物館セミナー室
4. 定 員：30名（先着順）
5. 受講料：6,200円（全講義を通しての受講料です。受講決定通知後に受講料を振込み願います。納められた受講料は返金できません。）
6. 申込方法：官製ハガキか電子メール、またはFAXでお申し込み下さい。採否の通知は後日お知らせします。なお、申し込みは一人一通とし、複数の申し込みは無効とします。

○官製ハガキでの申込：

「第19回公開講座申込」と最初に書き、(1)住所、(2)電話番号、(3)氏名（ふりがな）、(4)年齢、(5)職業を必ず明記の上、下記宛先にお申し込みください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館

○電子メール・FAXでの申込：

「第19回公開講座申込」と最初に書き、上記(1)～(5)を記入のうえ、下記宛先に送信してください。

申込用メールアドレス：koukai@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

申込用FAX：075-753-3277

7. 申込締切：6月9日(金)

8. 申込・問合せ先：

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館

TEL 075-753-3272 FAX 075-753-3277

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>

京都大学総合博物館

2006年春季企画展関連公開シンポジウム

「コンピュータ感覚のこれまでとこれから」

坂井利之 [京都大学名誉教授・龍谷大学名誉教授]

「音声メディアの分析から知能情報処理へ」

堂下修司 [京都大学名誉教授・龍谷大学名誉教授]

「情報処理における法則性」

長尾真 [京都大学名誉教授・独立行政法人情報通信研究機構理事長]

2006年6月24日(土) 午後2時～午後4時

京都大学 時計台記念館国際交流ホール

申込不要・無料

※講演題目は仮題です